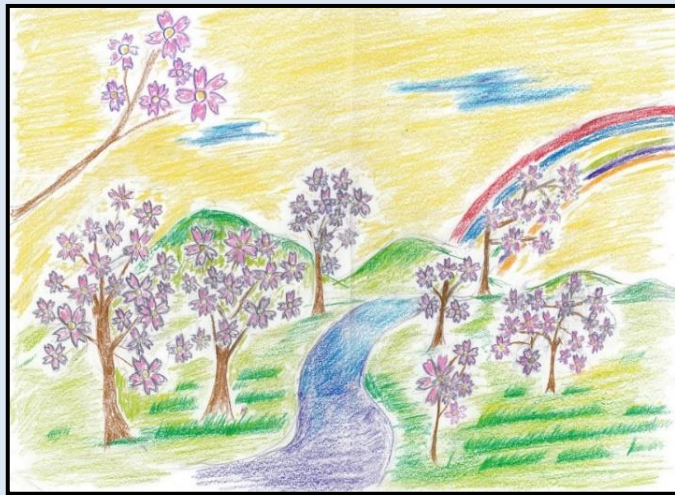


題名：春

桜並木を描いて春らしい
雰囲気を出しました。春が楽
しみになるように明るい色
を出して色使いを工夫しま
した。桜の木を緻密に描くこ
とが難しかったです。

(オンリーワン 山内慎介)



西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）機関紙

オンリー



バリアフリー
ペーパー

春号

平成 31 年 4 月 23 日発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

4 月は新生活をスタートする人も多い時期ですね。1 年半の育児休暇を終え、職場復帰することになりました。我が家の子供達も、保育園、小学校と新しい生活に慣れるのが一生懸命の毎日で、がんばれー！！と見送る日々です。私も、心機一転、元気に働きたいと思います。また皆様にお会いし、近況などのお話を聞けることを楽しみにしています。(支援センター 久保)

平成 31 年度 パソコン講座の受講生を募集します



実施期間:2019 年 6 月～2020 年 3 月の金曜日(月 2 回開催)

講座日程表(予定)

月2回	金曜日	13:30～15:30
2019年	6月	7日 28日
	7月	12日 26日
	8月	9日 23日
	9月	6日 20日
	10月	4日 18日
	11月	1日 15日
	12月	6日 13日
2020年	1月	10日 24日
	2月	7日 21日
	3月	6日 13日

障がいのある方を対象に西条市障害者相談支援センターがパソコン講座(全 20 回)を開催します。

パソコンの技術を習得するだけでなく、参加された方同士の交流も目的としており、例年和やかな雰囲気の中で講座を楽しんでおられます。興味のある方は、一緒に勉強してみませんか。

時 間 : 13 時 30 分～15 時 30 分
内 容 : ワードの基本操作、名刺・年賀状作りなど
費 用 : 無料(テキスト代等として 1,000 円程度の実費が必要です)
対象者 : 在宅障がい者 10 名程度
※申し込み多数の場合は抽選となります。
場 所 : 西条市小松公民館 1 階 パソコン室
(小松町新屋敷甲 3008 番地)
講 師 : 障がい当事者グループ オンリーワン

申し込み締め切り:2019 年 5 月末迄

*** 申し込み * 問い合わせ ***

- ◆ 西条市障害者相談支援センター
- ◇ 社会福祉法人 西条市社会福祉協議会
- ◆ 〒799-1371 西条市周布 606-1 西条市東予総合福祉センター内
- ◇ 電話 0898-64-2600(代) FAX 0898-64-3920 担当:久保
- 【mail】soudan4-saijo@saijoshakyo.or.jp



題名：湖畔の春

朝倉ダムの湖畔は周辺に約 770 本余りの桜があり、「朝倉ダム緑水公園まつり」も開催される桜の名所です。毎年、湖畔の周りを歩きながら様々な場所や角度から撮影しています。この写真は、展望広場から撮影した物です。ここは、湖畔と桜の美しい風景写真が撮れる私の気に入りのスポットです。毎年違った風合いを楽しませてくれる桜。来年も、きれいに咲いたなあと写真を撮りながら春の訪れを感じることでしょう。(オンリーワン 山内 信子)



チューリップ

Noriko Shiozaki
塩崎 乃里子

雨にも負けず 風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けず...
何事もコツコツ頑張る乃里子さん。
今回の作品は「チューリップ」。
ひとつひとつ時間をかけて丁寧に、
色とりどりのチューリップが画用紙
いっぱいになんだ。元気いっぱいに
春の訪れを教えてくれているような
作品である。
(就労継続支援 B 型事業所 Visee)



発行:西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集:オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内
TEL: 0898-64-2600 (代) FAX: 0898-64-3920 E-mail: soudan4-saijo@saijoshakyo.or.jp

次回 7 月発行

生活介護事業所 きずな を訪問して



管理者の秋山真澄さん



【生活介護事業所とは】

常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行う事業所です。

西条市明屋敷にある生活介護事業所『きずな』取材させていただきました。管理者の秋山真澄さんからお話を伺いました。平成28年3月より生活介護事業所を開所しています。一般的な住宅を利用しているので台所やお風呂などもあり、施設という雰囲気はなく、家と同じ感覚で過ごすことができます。

きずなの活動は、午前中はその日の昼食の材料を買いに近所のスーパー等に買物に出掛け、一緒に昼食作りをし、昼食後の午後からの活動は利用者さんが興味や関心がある事や個々に応じた活動をしてもらうようにしています。春には禎瑞の芝桜などのお花見に出掛け、夏には西条運動公園総合プールに行くなど季節に応じた活動を行っています。

1日に平均で4～5名の利用者さんが通所され、職員が6名で支援をしています。一人の職員が複数の利用者さんを支援するのではなく、マンツーマンでの支援ができるように心掛けています。利用者さん一人ひとりに合った必要としている支援をしたいと考えています。利用者さんが自分たちの力で買い物・調理・後片付け等をして『日常生活の自立』を目指されていると話されていました。



利用者さんと一緒に創作活動で作ったヘアゴムやアクセサリ等の小物を、地域のバザーやイベント、アクアホール、地方局の売店、商店街の雑貨店コタコタ等で販売しています。おしゃれで胸が高鳴るような可愛い作品がいっぱいでした。

今、一番人気
★マグネットクリップ★

今回の取材を通して感じたことは、皆さんの表情が明るく生き生きとされていた事でした。利用者さん一人ひとりに寄り添った支援をおこなうことで楽しく充実した日中活動を過ごせ、食事作りや家事等の生活をしていく力も身につけることができる素晴らしい事業所だと感じました。

人との繋がりを大事にしたいと事業所を『きずな』と名付けられたそうです。これからも皆さんとの絆を大切に、日中活動やスキルアップを目指して頑張ってください。
(オンリーワン 柳瀬)

生活介護事業所 きずな

住 所：西条市明屋敷 363 番地 1

電 話：(0897) 47-5825

FAX：(0897) 47-5826

営業日：月曜～金曜（祝祭日営業）

お休み：土・日曜日、年末年始

お盆、地方祭

当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)

宮田 寿男さん



障がいがありながらも、団塊の世代を生き抜いて来た、72歳の宮田寿男さん取材させて頂きました。宮田さんとの出会いは、障がい者パソコン講座に受講生として参加された時でした。パソコンのキーボードを叩く指の動作がとてもしなやかで、講座の内容の理解が早く、本当に優秀な受講生でした。『パソコンはどこかで習っていましたか？』と何度も聞いてしまう程とても全てに精通されていました。『いいえ、パソコンは自己流です。僕はパソコンが好きなんです。』との返事に驚きを隠せませんでした。

宮田さんは1歳頃に小児麻痺と診断を受け、足に麻痺がありますが、お仕事は造船所で配管工として20年間勤務されていました。去年は前立腺癌が見つかり3ヶ月間入院をされていましたが、現在は普通の生活に戻っています。『自分との葛藤の日々で、奥さんに愚痴を言い過ぎて怒られています』と優しい笑顔をされ、どこか恥ずかしそうに話されたのが印象に残りました。

『病気に対する不安はありますが、パソコン講座に参加し仲間と接していると気が紛れます。また、パソコンの新しい分野を習得できる楽しさをしみじみ感じています。もっとパソコンを上達していきたいです。』と力強く熱意を語ってくれました。

何事にも真面目に取り組む宮田さん。皆さんからの信頼も厚く、好きなパソコンを頑張っている姿に心よりエールを送りたいと思います。

(オンリーワン 梅野)